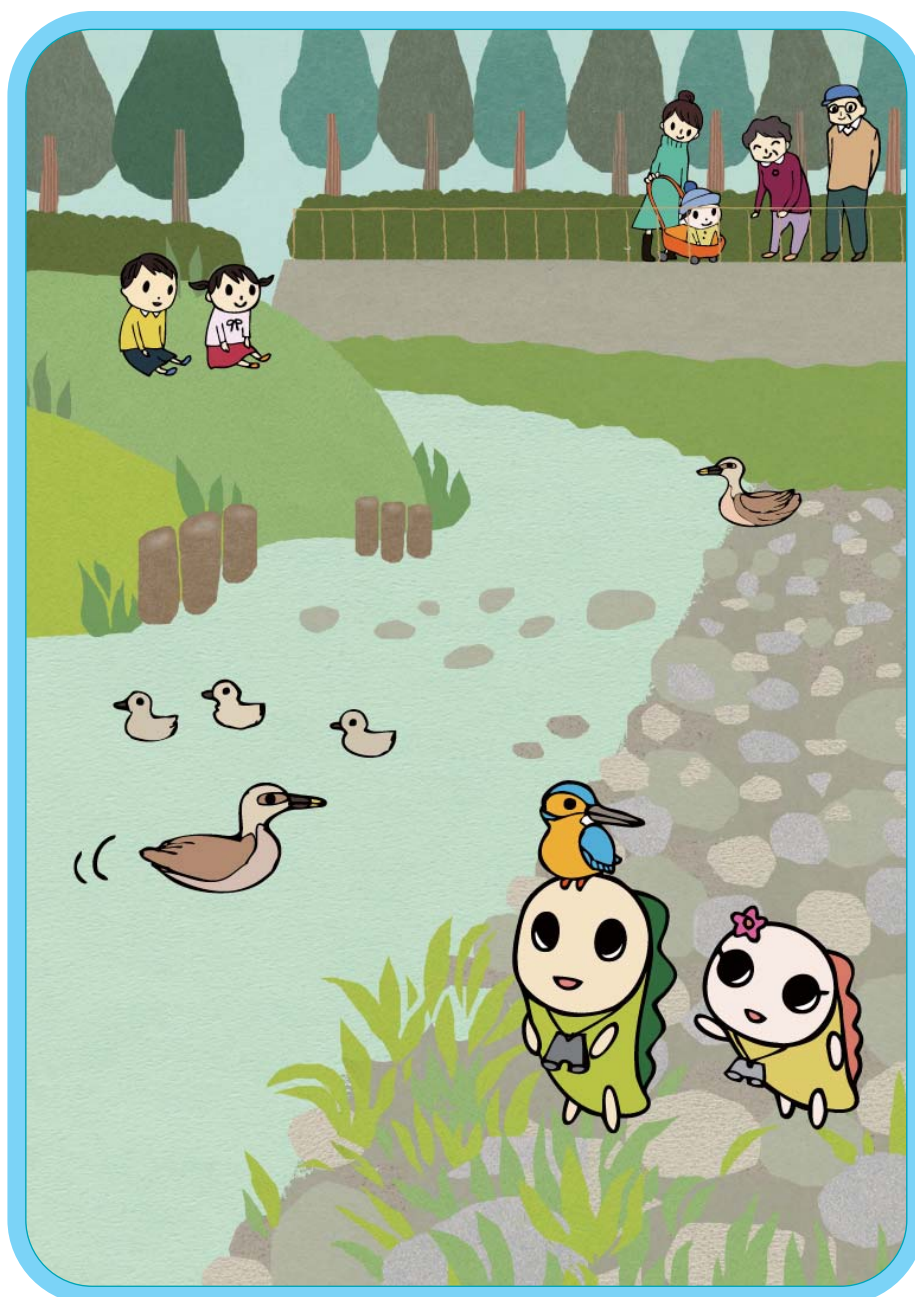


# 善福寺川「水鳥の棲む水辺」

## 創出事業行動方針

- 「区民がつくる、カワセミの棲む自然豊かな水辺」を目指して -



平成26年2月  
杉並区





## 目次

1	はじめに.....	1
2	善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業とは.....	3
3	目標	
	①5つの目標.....	6
	②行動方針の体系.....	6
4	基本方針別 目標・取組	
	●基本方針① 豊かで清らかな流れをつくる	
	目標1 美しい川を守る.....	7
	取組(1) 区民一人ひとりの川の環境に配慮した行動の啓発.....	8
	取組(2) 合流式下水道の改善.....	9
	目標2 雨水を地中にもどす.....	10
	取組(1) 雨水流出抑制対策の推進.....	12
	目標3 水とみどりが一体となった河川景観をつくる.....	13
	取組(1) 水とみどりが一体となった水辺空間づくりの推進.....	14
	●基本方針② 多様な動植物が生息・生育・繁殖できる環境をつくる	
	目標4 自然豊かな水辺・流域を整備する.....	15
	取組(1) 自然に配慮した河川整備の推進.....	16
	取組(2) みどりの保全と創出の推進.....	17
	●基本方針③ 区民の関心を高め、区民と行政との協働で取り組む	
	目標5 善福寺川に関連する活動を進める.....	18
	取組(1) 定期的な啓発事業の実施.....	19
	取組(2) 事業に関連する情報の蓄積と発信.....	20
	取組(3) 区民による活動との連携強化.....	21
	参考.....	22
	参考文献.....	23



善福寺川は、杉並区のほぼ中央を北西から南東にゆるやかに蛇行しながら流れる延長 10.5km の一級河川です。善福寺池から流れ出て、中野区境で神田川に合流する、杉並区で始まり杉並区で終わる川です。かつては、湧水量が豊富で水は澄み、神田上水の補助水源として江戸に水を供給し、かんがい用水や子供の遊び場としても利用されていました。

現在では、周辺地域の市街化が進んで宅地や道路・駐車場などの雨水がしみ込みにくい地域が増え、数多くあった湧水は減少し、川の水量が減りました。このため、下水処理水をさらに高度処理した再生水を放流し川の水量を維持しています。その一方で、雨天の時には周辺から大量の雨水が流入し、流域で浸水被害が発生しやすくなりました。また、下水道の普及に伴い水質は改善しましたが、大雨が降ると汚水混じりの雨水が放流されるため、雨天時の水質改善が課題となっています。現在、下流から順次河川整備が進められています。また、降雨初期の特に汚れた下水が河川に放流される合流式下水道についても改善事業が進められています。

今の善福寺川は、川沿いに見られた水田や湿地などの水辺環境や畑、樹林などが減少するとともにコンクリート護岸で整備され、生きものにとっては、生息しにくい環境となりました。しかしながら、川沿いには善福寺川緑地や和田堀公園などの公園緑地がまとまっている場所があり、区内でトンボや鳥などの生きものが多くみられる場所のひとつとなっています。現在多くの区民や流域の学校などによって、善福寺川や流域の環境に対する活動も活発に行われています。

区は善福寺川において水鳥に着目し、区民とともに多様な動植物が生殖・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図ることを目的に、平成 20 年度から善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業について取り組んでいます。

区は、平成 21 年 11 月に「善福寺川『水鳥の棲む水辺』創出事業検討懇談会」や、区民の皆さんのご意見をお聴きし、「善福寺川『水鳥の棲む水辺』創出事業基本方針」を策定しています。

このたび、これまで皆様からいただいたご意見、都・区の計画などを基に善福寺川の将来像を見据え、3つの基本方針に基づいた、5つの目標、9つの取組を示す「善福寺川『水鳥の棲む水辺』創出事業行動方針」を策定いたしました。

今後は、この行動方針に基づき、「区民がつくる、カワセミの棲む自然豊かな水辺」を目指し、事業に取り組んでいきます。





### ●事業のはじまり

この事業のきっかけは、区民からの一通の手紙でした。西田小学校の元教諭が、出身地である鳥取県日野町のオシドリグループの保護活動を授業で紹介したところ、活動を知った児童がオシドリの餌となるドングリを拾い集めて送るようになりました。その活動を知った区民の方から「善福寺川でも水鳥の保護に取り組んではどうか」という手紙が杉並区へ届き、事業のきっかけとなりました。

### ●事業の基本方針

杉並区では、平成 20 年度より善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に取り組み、平成 21 年 11 月に「善福寺川『水鳥の棲む水辺』創出事業基本方針」を策定しました。

基本方針では、事業コンセプトを設定し、「3つの基本方針」と事業を進める際に配慮すべき「3つの指針」を定めています。

#### 事業の目的

— 本事業は善福寺川において、水鳥に着目し、区民とともに多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境を再生・創出する —

#### 善福寺川の目標とする水辺環境

- ・豊かな湧水に恵まれた美しい川の流れ
- ・多様な動植物が生息・生育する水辺
- ・区民が、身近に触れられ、潤いと安らぎを実感できる水辺
- ・川から公園・緑地、学校、社寺、団地などへ豊かな自然が広がる流域

#### 事業の基本的取組みの視点

- ① 豊かできれいな流れをつくろう
- ② みどりを増やそう
- ③ 多様な生物が棲む水辺環境をつくろう
- ④ 流域のネットワークをつくろう
- ⑤ 事業を知らせてみんなの関心を高めよう
- ⑥ みんなで事業に取り組もう
- ⑦ できることから始めて続けよう
- ⑧ 事業を見守り将来につなげよう

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業基本方針

事業コンセプト

「区民がつくる、カワセミの棲む自然豊かな水辺」

区民と川とのつながりを深め、流域一帯に多様な自然環境を創出し、川文化を育てる

3つの基本方針

① 豊かで清らかな流れをつくる

水質の保全・改善

地下水・湧水の保全・回復

多様な水辺景観の創出・育成

② 多様な動植物が生息・生育・繁殖できる環境をつくる

多様な水辺環境の保全・創出

流域の緑の保全・創出

身近な生き物の生息環境の保全・創出

③ 区民の関心を高め、区民と行政との協働で取り組む

事業についての普及啓発の推進

区民参加による活動の推進

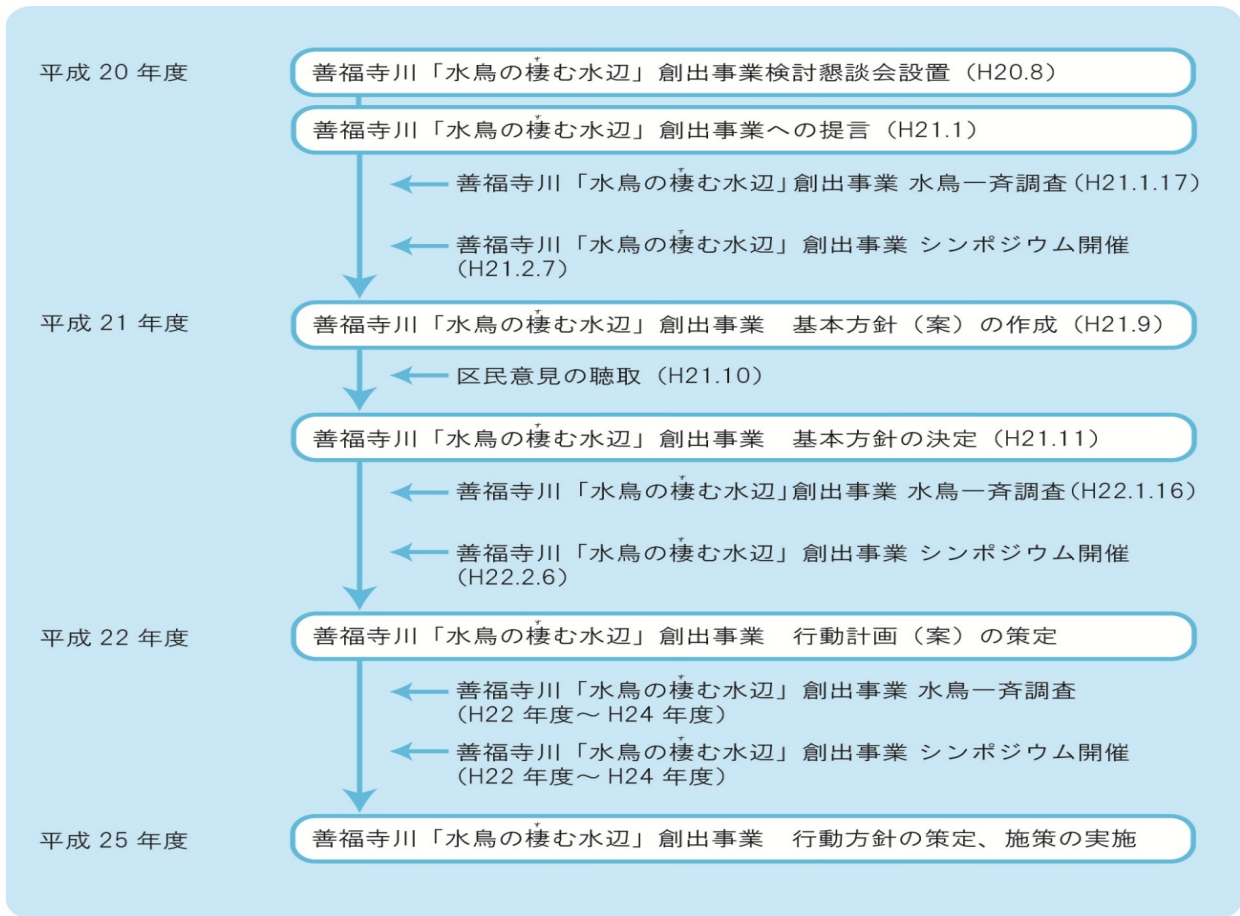
将来を担う子供たちが参加できる取組みを推進

善福寺川

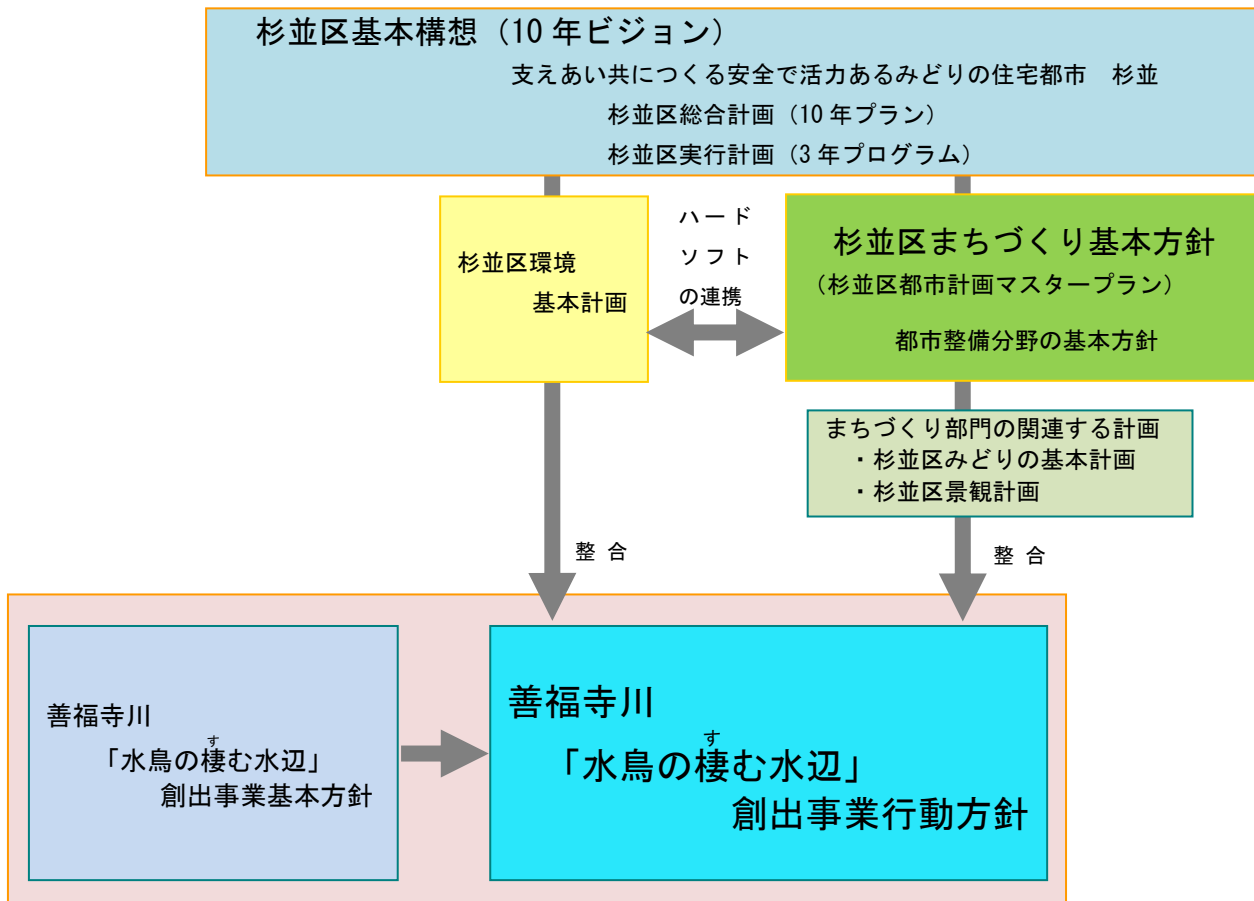
「水鳥の棲む水辺」

創出事業行動方針

## ●事業の経緯



## ●善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針の位置づけ





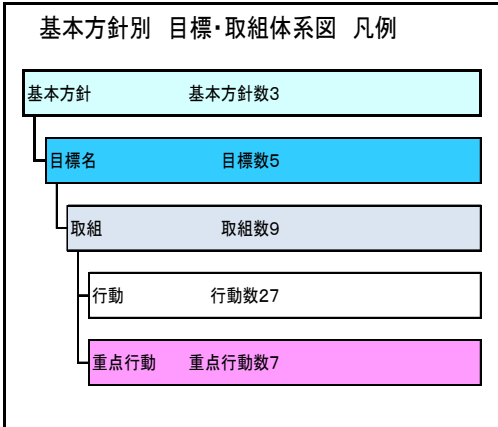
① 5つの目標

本行動方針は善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業基本方針で定めた3つの基本方針を踏まえ、5つの目標を定め、事業のコンセプトである「区民がつくる、カワセミの棲む自然豊かな水辺」の実現を目指します。各目標のもと9つの取組を進めていきます。

- 目標1 美しい川を守る
- 目標2 雨水を地中にもどす
- 目標3 水とみどりが一体となった河川景観をつくる
- 目標4 自然豊かな水辺・流域を整備する
- 目標5 善福寺川に関連する活動を進める

② 行動方針の体系

基本方針別 目標・取組





## 基本方針① 豊かで清らかな流れをつくる

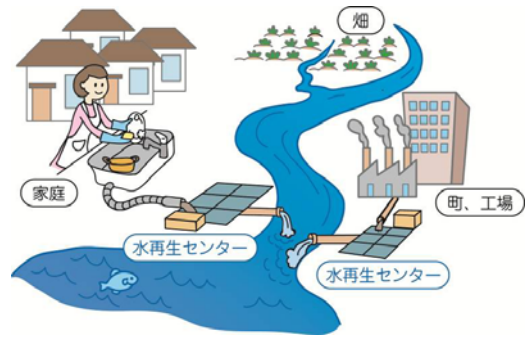
## 目標1 美しい川を守る

## 現状

## 私たちの暮らしと川のかかわり

私たちは川沿いを散歩して景色を楽しんだり、生きものとのふれあいを楽しんだりします。また、川には雨水などを集めて下流へ流す役割があります。一方、私たちの日常生活や社会活動で使った水道の水は、汚れた水（汚水）となります。汚水は東京都の水再生センターできれいにした（処理）後、神田川、妙正寺川などへ放流されます。

杉並区内の下水道は、合流式下水道という方法で整備されています。これは、汚水と雨水を一緒の下水道管で水再生センターへ送り、処理する方法です。水再生センターの処理能力を超える雨が降ると、汚水混じりの水が善福寺川などに放流される仕組みになっています。



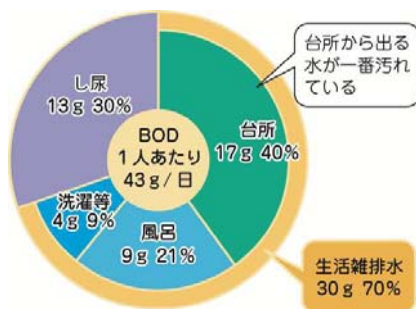
私たちの暮らしや経済活動で出る排水は、水再生センターで処理され、川や海へ流される

（参考：「こども環境白書 2010」2009.10 環境省）

## 課題

## 川の水の汚れの最も大きな原因は、家庭から出る生活排水

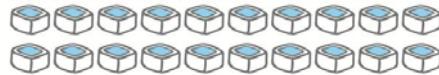
自然界には、少しの「汚れ」なら自分できれいにしてしまう力があります。しかし、汚れが多すぎると、川や海にすむ微生物や生きものが汚れを食べて分解する量を超えてしまうので、水は汚くなります。東京湾などで調べたところ、水の汚れの一番の原因は、工場などから出る排水ではなく家庭から出る生活排水で、水の汚れの原因の約7割に及んでいました。※1生活排水とは、台所で食器を洗ったり、お風呂で身体や髪を洗った水、洗濯した水などです。その中でも特に水を汚しているのが、台所から流される「食べ物」です。



BOD（生物化学的酸素要求量）  
水の汚れを表す指標の一つ。水中の汚染物質が微生物によって分解される際に必要とされる酸素量。数値が大きいほど汚れている。一般的に人的汚染の無いきれいな河川のBODは1mg/ℓ以下。

生活排水の中の汚れの割合  
（参考：「こども環境白書 2010」2009.10 環境省）

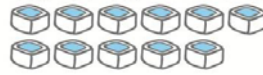
使用済み天ぷら油（20ml）＝バスタブ 20 杯



マヨネーズ大さじ1杯＝バスタブ 13 杯



牛乳コップ1杯＝バスタブ 11 杯



みそ汁1杯＝バスタブ 4.7 杯



こんなにたくさんの水があるのー？！



魚が棲める水質にもどすために必要な水の量は？

（参考：「新・子どもたちが地球を救う50の方法」  
2009.5 地球を救う50の方法制作委員会）

※1 出典「新・子どもたちが地球を救う50の方法」2009.5 地球を救う50の方法制作委員会

## 取組（１） 区民一人ひとりの川の環境に配慮した行動の啓発

### ●川にゴミを捨てない意識啓発の推進

ゴミが風で飛ばされたり雨に流されたりして、川に流れこんでしまうこともあります。ゴミを捨てない意識を啓発していきます。

川にすむ生きものに餌をあげることも水を汚し、川にすむ様々な生きものたちの関係やバランス（生態系）をくずすことにつながります。

井荻小学校の卒業制作「ゴミを捨てないで」手作り看板



井荻小学校の河川清掃活動

餌はあげないで！  
水を汚し生態系をくずす  
ことにつながるよ！



（参考：「新・子どもたちが地球を救う 50 の方法」  
2009.5 地球を救う 50 の方法制作委員会）

### ●生活排水の削減

水の汚れの原因となる生活排水をなるべく出さないように啓発していきます。

食べ残しをしない、油を流さない、細かいゴミを流さないようにくず取りネットや水切り袋を使う。洗剤やシャンプーは適量を守る、掃除は小まめにし、強い洗剤を使う回数を減らす。

ちょっとしたことに気をつけるだけで、水の汚れを防ぐことができます。

お皿のひどい汚れは  
ふき取ってから洗おう！

地球にやさしく  
おいしく完食！



（参考：「新・子どもたちが地球を救う 50 の方法」  
2009.5 地球を救う 50 の方法制作委員会）

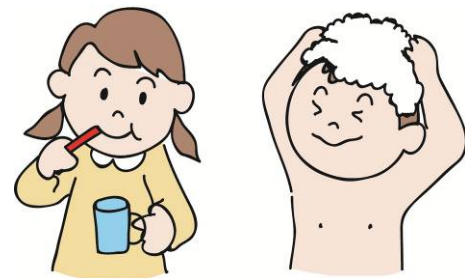
### ●節水の推進

日頃から、水を出しっぱなしにしない、トイレの水は必要なだけ流す、お風呂の残り湯を洗濯や掃除に使うなど、節水につとめるよう啓発していきます。

杉並区の下水道は、合流式下水道です。私たちが水道の水を使って汚れた水をたくさん出すと、大雨の日にはこの汚れた水が雨水と一緒にあって、その一部が川へ放流されてしまいます。

歯みがきの間は、  
水ストップ！

頭を洗うときも  
シャワーはストップ！



（参考：「新・子どもたちが地球を救う 50 の方法」  
2009.5 地球を救う 50 の方法制作委員会）

## 取組（２） 合流式下水道の改善

大雨の時には、施設の処理能力を超える下水の一部が善福寺川へ放流されています。杉並区内の下水道は、東京都が管理し、貯留施設などの合流式下水道の改善に取り組んでいます。また、武蔵野市の下水道からも区内の下水道と同様に善福寺川に放流されています。武蔵野市でも、貯留施設など合流式下水道の改善に取り組んでいます。区は都や武蔵野市と連携して合流式下水道の改善を推進していきます。

### ●合流式下水道の改善の推進(重点)

善福寺川の水域において、降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設を整備し、川に放流される汚濁物質を減らします。また、新河岸水再生センター、中野水再生センターには高度処理施設または準高度処理施設を導入し、下水処理水の水質をより改善します。

■合流式下水道の改善のイメージ



### ●武蔵野市と連携した合流式下水道の改善の推進

武蔵野市は、市域のほとんどが杉並区と同じ合流式下水道で整備されていますが、平成 25 年度末までに合流式下水道から善福寺川や神田川に放流される汚濁物質を分流式下水道並みに減らすことを目標としています。雨天時に未処理で放流される下水を一時的に貯めておき、晴天時に水再生センターに送る貯留槽を整備しています。合流式下水道の改善の推進について、武蔵野市と連携していきます。

### ●公共用地に雨水貯留浸透施設の設置推進



降雨時には施設の処理能力を超えた汚水混じりの雨水の一部が善福寺川に放流されます。公共用地を利用した貯留槽設置を進め、区内小中学校などに雨水貯留浸透施設を設置し、下水道に流入する雨の量を減らすことで合流式下水道の改善に取り組めます。

(左図は杉並区立井荻小学校校庭)

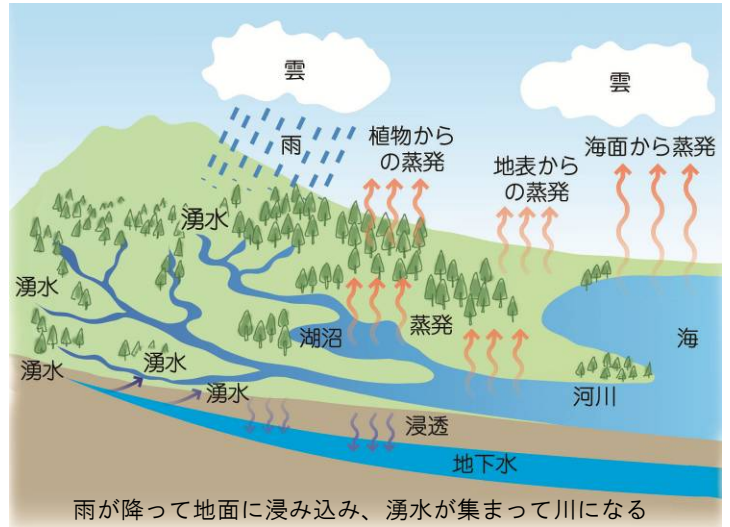
## 目標2 雨水を地中にもどす

### 現 状

#### 水はめぐる

地球が水の惑星として誕生した時から、水はいつも同じ量のまま、川や海になったり、雲になったり、雨になったりしながらぐるぐると地球をめぐっています。

この水の循環が、いろいろな地形をつくったり、地球表面の温度を冷ましたり暖めたり、いろいろな物質を運んだりしています。



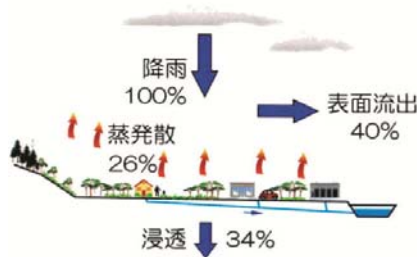
### 課 題

#### 杉並区では、雨水が地面にしみ込みにくくなっている

杉並区では、昭和30年頃までは善福寺川流域などに水田が広がり、多様な水辺環境を含めたみどりの空間が広がっていました。しかし、昭和後期には市街化が進み、水田や畑は大きく減少し、地面がアスファルトやコンクリートなどで覆われて雨がしみ込みにくい場所が多くなり、水の循環の一部が遮られてしまいました。

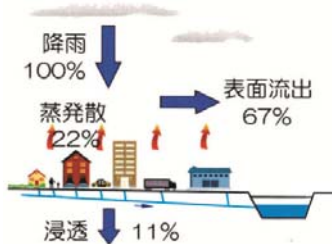
地面にしみ込まない水は地表面を流れ、短時間のうちに下水道から川、川から海へ放流されてしまいます。

##### ■緑地、農地が多い地域



雨水がしみ込みやすい

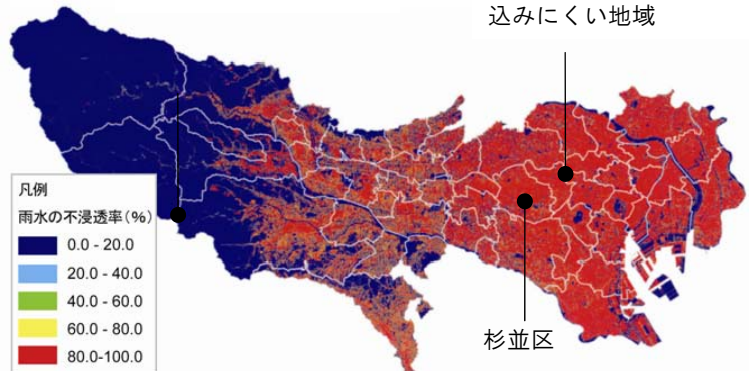
##### ■市街化が進んだ地域



雨水がしみ込みにくい

青色は、山林、緑地、農地などで雨水がしみ込みやすい地域

褐色は、宅地や道路・駐車場などで雨水がしみ込みにくい地域



東京都内の雨水が浸みにくい区域の分布。杉並区では、雨水のしみ込みにくい場所がほとんど。

## 湧水が減少し、善福寺川の水量が減少している

善福寺池はかつて「遅の井」からの湧水でかんようされてきました。今は地下水を汲み上げています。しかし、善福寺川には湧水がところどころにあります。

湧水は水がきれいなため、湧水近くの川の水質は他の場所よりも良好です。このような役割をもつ湧水ですが、消失したり水量が減少して善福寺川の水質や水量に影響を与えています。

このため、善福寺川では、下水処理水をさらに高度処理した再生水が流れる千川上水の水を取り入れて、川の流れを維持しています。



御供米橋周辺の湧水

## 水害が発生する

雨が降ると地面にしみ込まずにそのほとんどが下水道や川に流れ込むため、下水道の施設能力を超えたり川が増水して水害が起こりやすくなりました。

杉並区の河川流域では、平成17年9月4日の大雨の時に大きな浸水被害が発生しています。



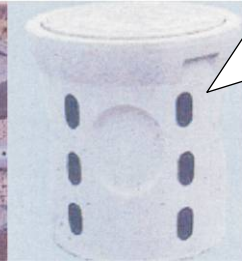
2005年9月4日 上荻地区の浸水

## 取組（１） 雨水流出抑制対策の推進

### ●雨水浸透ます設置の推進(重点)

建物や道路、駐車場に降った雨は、雨水ますから下水道へ排水されます。雨水ますの代わりに雨水浸透ますを取り付けたり、道路や駐車場を透水性舗装にして地中に雨水を浸み込ませることで、下水道や川に流入する雨水を減らすと共に地下水を保全・回復することができます。

杉並区では、公共施設に雨水浸透施設の設置を進めています。民有地への設置については助成制度を設けています。また、建物の新築や増築の時に雨水浸透施設の設置を広く啓発し推進していきます。

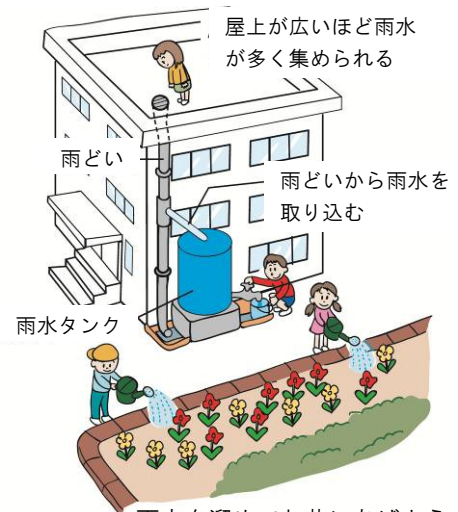


雨水浸透ますって何？  
集まってきた雨水を底面や側面に穴のあいた雨水ますで地下に浸み込ませるものです。

### ●雨水利用の推進

#### ー雨水を溜めて土にもどそうー

屋根や屋上に降った雨水をタンクに溜めれば、花壇の水やり、散水、掃除、池の給水などに使うことができます。雨水を溜めて散水などに使うことで、時間をかけじっくりと雨水を地中に浸み込ませることができます。雨水利用の促進を啓発していきます。



雨水を溜めてお花にあげよう  
(参考：「21世紀子ども百科 地球環境館」2005.7  
平野芳裕・小学館クリエイティブ)

### ●緑化対策の推進

植物が地面に植えられ育っている場所では、植物が地中に根を張りめぐらせているので、土の粒と粒との間にゆとりができ、水分が地中にしみ込みやすくなっています。

建物の敷地をすべてコンクリートで覆ってしまうのではなく、雨水が浸透しやすい植栽地をつくり、守り育てることで地下水を保全することができます。また、建物の屋上などを緑化すると緑化された場所に雨水が溜まり、下水道管へ一度に流入する雨水の量を減らすことができます。

杉並区では、生垣など道路沿いの緑化や建物の屋上、壁面の緑化について推進していきます。



植物の育つ地面は雨水が浸み込みやすい

## 目標3 水とみどりが一体となった河川景観をつくる

### 現 状

#### 善福寺川は自然地形に沿って流れている

善福寺川の自然地形に沿って蛇行した流れは、区民が水とみどりに親しむための魅力となっています。善福寺川は、杉並区景観計画の中で景観重要公共施設として、景観重要河川に位置づけられています。また、河川区域及び河川境界線の両側 30mの区域を水とみどりの景観形成重点地区としています。



大きく蛇行した善福寺川の流路  
杉並区みどりの実態調査(平成20年)より

### 課 題

#### 水と親しむためには良質な水辺環境が大切です

善福寺川流域には善福寺池の「遅の井」や「御供米橋下流の湧水」などの歴史・文化的景観、善福寺川緑地、和田堀公園と一体となったみどり豊かな景観などがありますが、歩きにくい場所や川に背を向けた建築物などがあります。



善福寺池の「遅の井」



御供米橋下流の湧水



善福寺川緑地を流れる善福寺川



善福寺川に近い和田堀公園内和田堀池



## 取組（１） 水とみどりが一体となった水辺空間づくりの推進

### ●水とみどりの一体感が連続して感じられる河川景観の整備

河川沿いや河川内の緑化を積極的に進め、護岸や管理通路の硬い表情を和らげて潤いと景観のつながりを生み出します。河床には水生植物が生育する環境を整え、河川景観に変化と彩りを加えていきます。また、河川整備について、治水上の課題を調整の上、河川景観などに配慮した緩傾斜護岸などとするよう求めています。

川沿いに新たに建てる建築物などは、周辺のみどりや河川沿いの広がりや調和するように、積極的な緑化を指導していきます。

### ●みどり豊かな川沿いの歩行空間の整備

川沿いの歩行空間は、川を眺望できる場所、川の趣を感じることでできる親水空間として、誰もが利用しやすい、みどり豊かで連続した歩行空間づくりに努めます。新たな河川の整備を行う場合は、眺望できる場所などの環境整備を求めています。

### ●川と川沿いの地域が調和したまちなみ景観の形成

川沿いに新たに建てる建築物などは、川を意識した意匠、配置とするよう景観形成基準に基づいて規制誘導し、川と周辺地域が一体となるよう、まちなみ景観を形成していきます。

また、杉並百景や社寺、古木、公園緑地など善福寺川沿いの地域の魅力と一体となった川の景観づくりを進め、「川沿いを歩くに従って変化する、魅力的な景観の保全・創出」「川と公園緑地が一体となった、開放的な景観の保全」を図ります。



みどり豊かな善福寺公園下池



既存樹木を背景に流れる善福寺川上流



民有地の緑が川面に影を落とす善福寺川中流



善福寺川沿いの桜



善福寺川緑地を流れる善福寺川



善福寺川に近い和田堀公園内和田堀池

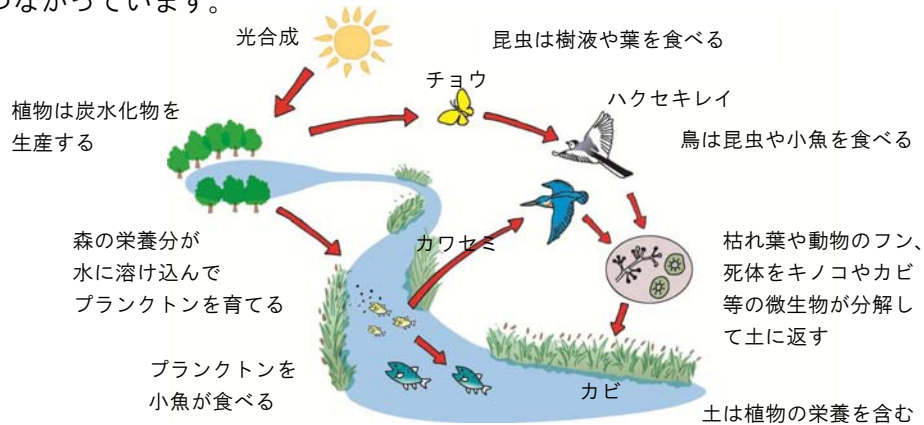
## 基本方針② 多様な動植物が生息・生育・繁殖できる環境をつくる

### 目標4 自然豊かな水辺・流域を整備する

#### 現 状

#### 地球上のあらゆる生きものは、つながっている

地球上のあらゆる生きものは、すべて「生産者」「消費者」「分解者」のいずれかの役割をもって互いに深くつながっています。



#### 生物多様性の恵みにより、人の暮らしが支えられている

生きものの種類の多さやいろいろな生活のしかた、お互いに利用し合い支えあう、様々な自然のつながりを「生物多様性」といいます。私たち人間もこの豊かな自然のつながりのなかで食物や産業に必要な材料を得ています。しかし、「生物多様性」が急速に失われようとしており、日本でも野生動植物の約3割が絶滅の危機にあります。

#### 課 題

生きものが急速に減少、絶滅している原因の多くが人間の活動にあります。地球温暖化の問題以外に、日本では次の3つが大きな原因となっています。



開発・乱獲

生きものたちがすむ森や水辺などを破壊する開発。食糧などにするため生きものをむやみにとってしまう乱獲。

里山などの手入れ不足



雑木林などが利用されなくなって放置され、環境が変わってそこで生活していた生きものの生育・生息場所がなくなってしまうこと。



外来種

人間が他の地域から持ち込んだ生きものが野生化して、元からいた生きものを食べてしまったり、棲みかを奪うなど悪い影響を与えること。

(参考：「21世紀子ども百科 地球環境館」2005.7 平野芳裕・小学館クリエイティブ)

## 取組（１） 自然に配慮した河川整備の推進

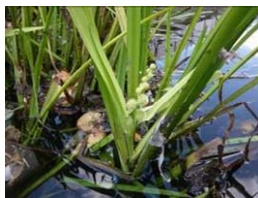
### ●湧水の保全

善福寺川には、原寺分橋下流の湧水や御供米橋下流の湧水をはじめ、多くの湧水が見られます。これらの湧水や、地下水が河床から湧き出す河川の構造を保全していきます。湧水や地下水の保全に際しては、区民の皆さんと協力し、湧水の調査を継続していきます。

### ●水辺緑化の推進

善福寺川には、ナガエミクリやエビモなどの珍しい水生植物が生育しています。しかし、これらが見られるのは中流部までで、洲がないなど河川構造が単純な中・下流部では、外来種であるオオカナダモばかりが見られるようになります。

善福寺川に多様な水生植物が生育することができる水辺環境を整備するとともに、河川管理通路などの緑化を進めます。また、善福寺川に接する善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園について、善福寺川と一体的な整備を求めています。



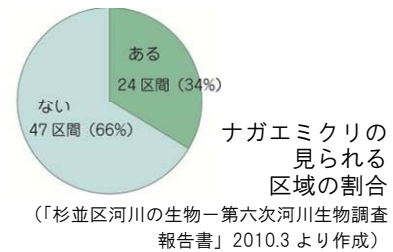
ナガエミクリ



エビモ

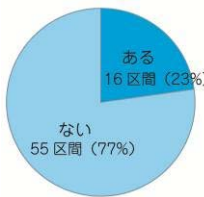


オオカナダモ

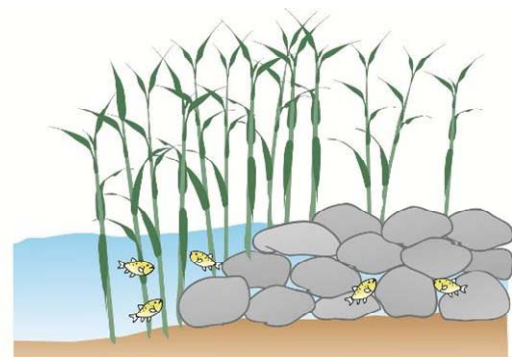


### ●動植物に配慮した河川整備

川には浅くて流れの速い「瀬」と、深く流れの緩やかな「淵」があります。生きものは、環境に応じて餌をとったり、休憩したり、産卵したりと使い分けています。しかし、善福寺川は瀬・淵のあるところが少なく河川構造が単純です。増水時には、魚などの逃げ場がなく下流に流されることもあり、動植物に配慮した自然豊かな整備を求めています。

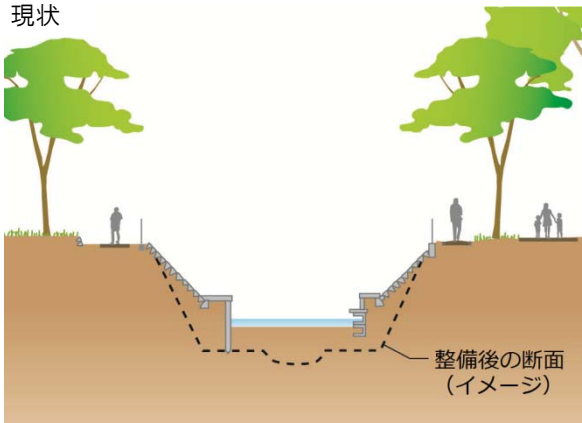


善福寺川の瀬・淵がある区域の割合  
〔「杉並区河川の生物—第六次河川生物調査報告書」2010.3より作成〕



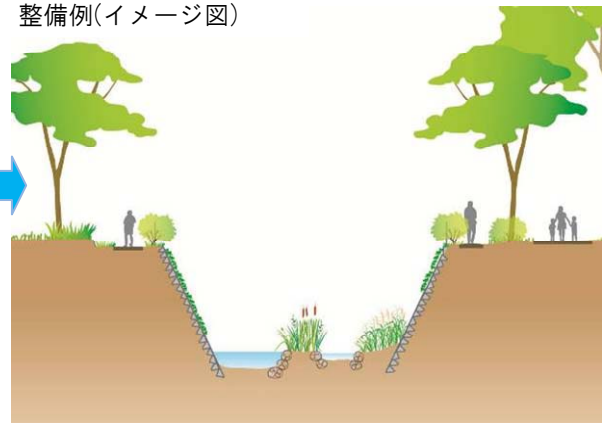
魚は、淵や川岸の茂み、土手のくぼみや石の隙間などを避難場所になっている

現状



整備後の断面  
(イメージ)

整備例(イメージ図)



川幅を広げて浅瀬や洲、深みをつくり、水辺の植物を増やす

## 取組（２） みどりの保全と創出の推進

### ●屋敷林等の保全の強化

善福寺川流域に長い年月をかけて育ってきた大木や屋敷林、社寺林は、杉並区らしい歴史風土を今に伝える貴重なみどりです。区内の屋敷林等に対して個別に調査および評価を行い、保全優先度に応じたきめ細かな保全方策を講じていきます。

### ●公園等の整備（重点）

善福寺川流域には、身近な公園が不足している地域があります。このような場所にまちかど公園やふれあい公園などを整備します。また、区のみどりの大拠点となっている都立善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園について、未開設部分の早期整備を東京都に要請していきます。

### ●生きものの生息場所の保全と創出

水辺や雑木林等を活用して、様々な生きものが生息できる場の創出を図ります。また、まちの中に、生きものの生息の場となる水とみどりが一体となったビオトープも設置していきます。

### ●エコスクールの推進

杉並区内の小学校などにおいて、学校ビオトープづくり、校庭緑地化や屋上緑化、壁面緑化などを進めます。また、学校を核として家庭・地域を含めた環境教育を進めていきます。

### ●みどりのベルトづくりの推進

善福寺川の「みどり」と公園や公共施設の「みどり」、寺社や宅地の「みどり」を結び、面的に広がる带状のみどりのベルトづくりを進めます。公共施設の緑化を進めるとともに、区民や事業者のみなさん、行政が連携し、接道部の緑化や屋上緑化などを増やし、身近なみどりから大きな骨格のみどりへとつなげていきます。



流域の水とみどりを守り、ふやそう

## 基本方針③ 区民の関心を高め、区民と行政との協働で取り組む

### 目標5 善福寺川に関連する活動を進める

#### 現 状

#### 善福寺川に親しむ機会が少ない

昔、善福寺川には川の周りで遊ぶ子供たちがたくさんいました。子供たちは川で遊びながら、自然や友達とのルールについて学びました。川を知り好きになることが、川をきれいにする第一歩につながりますが、今は子供たちが川に親しむ機会が少なくなっています。

#### 善福寺川に関わる活動

善福寺川では、探鳥会や自然観察会など、区民の皆さんが川の自然にふれあえる様々な活動を行っています。



小学校による川の生き物調査



水鳥観察会



善福寺川散策会

#### 課 題

#### 善福寺川の情報共有・発信

善福寺川に関わる活動団体は数多くあり個々に連携し情報発信をしていますが、善福寺川に関する活動や調査の情報を、広く区民の皆さんに伝えていく仕組みづくりが求められています。

また、善福寺川に自然豊かな水辺を取り戻すには、まず今の川の様子を区民の皆さんに良く知っていただくことが大切です。そのためには善福寺川の自然についてのより詳しい情報を発信していくことが重要です。

## 取組（１） 定期的な啓発事業の実施

### ●水鳥一斉調査の実施（重点）

善福寺川流域の小学校や環境団体と協力し、平成 20 年度から行っている水鳥一斉調査を継続・拡充していきます。また、流域の小学校に広く参加を呼び掛け、協力して調査が行えるように取り組みます。



小学生による水鳥一斉調査  
2013.1.12

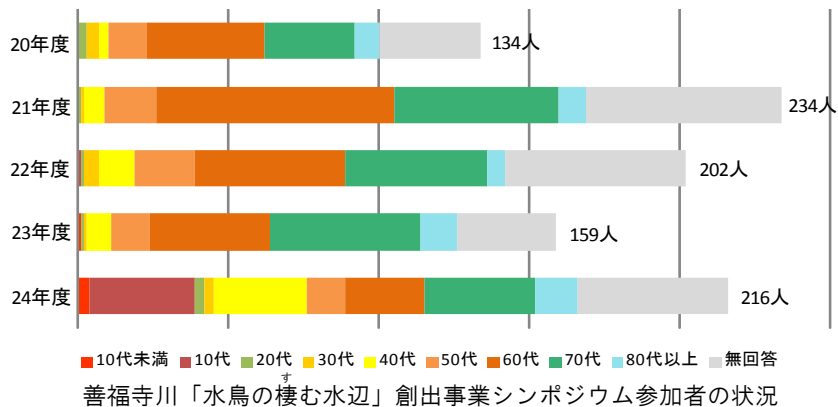


### ●シンポジウムの実施（重点）

平成 20 年度から実施している、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムを継続開催していきます。また、シンポジウムは、幅広い世代の方々に参加していただけるようにプログラムを工夫していきます。



善福寺川「水鳥の棲む水辺」  
創出事業シンポジウム H25.1.26



### ●善福寺川に関連する活動の支援（重点）

#### 一川に関心を持ち、自然を学ぼう

区は、「善福寺川発見」など善福寺川をテーマとする区民活動を支援しています。これからも区民の皆さんと協働で、善福寺川をテーマに子供から大人まで多くの皆さんが参加できる機会を支援していきます。



善福寺川発見 2012.10.21

## 取組（２） 事業に関連する情報の蓄積と発信

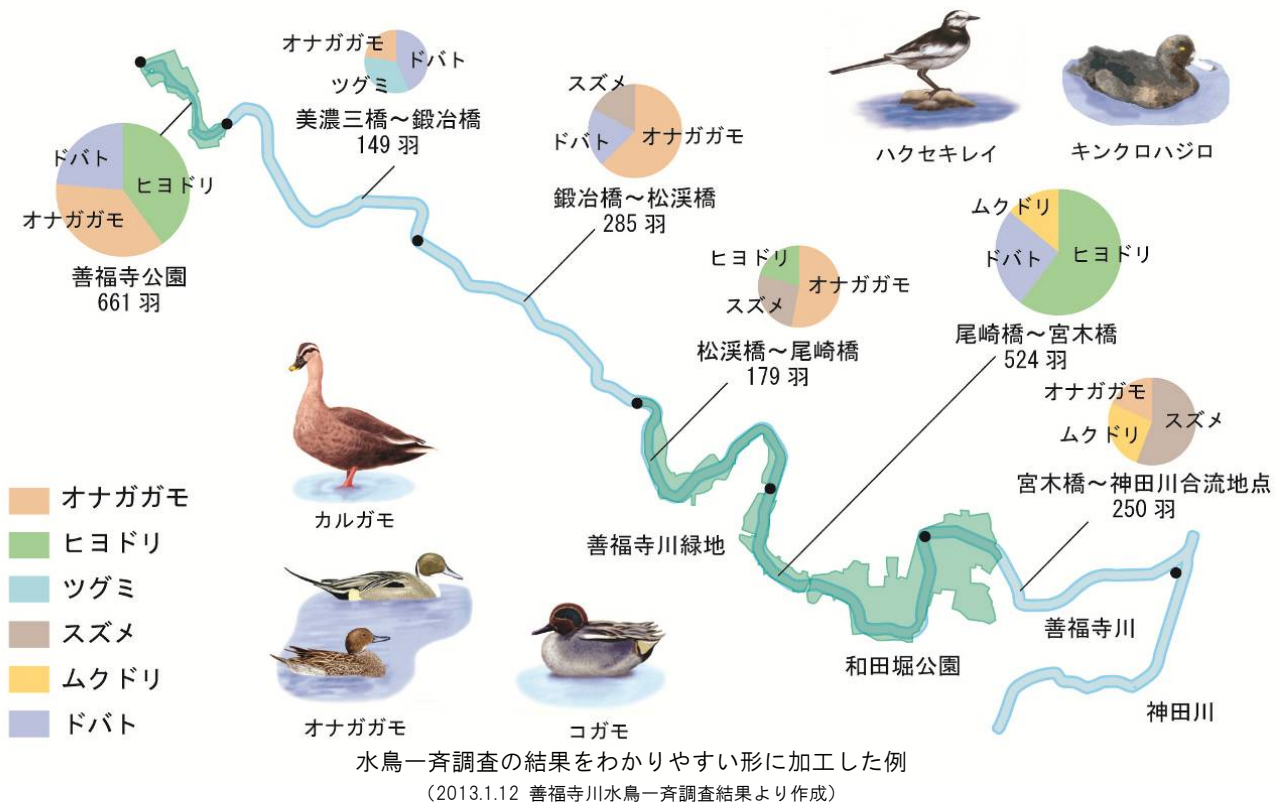
### ●善福寺川に関連する情報の収集・蓄積

善福寺川の自然や関連する事業、取組みなどの情報を収集・蓄積して、事業に活用できる仕組みをつくりまします。

特に善福寺川の生態系に関わる水質や湧水、植生、生きものの生息状況などについては、活動団体や区民の皆さんと連携し、調査データを蓄積していきます。

### ●ホームページによる情報提供

善福寺川や善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に関するパンフレットやシンポジウム等の内容をホームページで公表します。そこでは、善福寺川について蓄積した調査のデータをわかりやすい形で区民の皆さんへ情報発信していきます。



●事業と関連活動の連携強化（重点）

杉並区内には、善福寺川や自然環境の保護などに関わる活動団体が数多くあります。これらの団体などに対し善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業の周知を進め、団体や活動者と連携・協力しながら事業を進めていきます。また、こうした活動に対する顕彰を検討していきます。

●流域の学校と連携した活動の推進

流域の学校は、エコスクール化が進められ、善福寺川と地域を結ぶ緑化や環境教育の重要な拠点となっています。井荻小学校は、善福寺川をテーマとした環境教育を地域や活動団体と連携して行っています。

こうした地域と連携した河川の清掃活動や、生きもの、自然環境調査など善福寺川をテーマとする環境教育の動きが流域の小中学校へ広がっていくように啓発活動を進めていきます。



自然豊かな川づくりと区民による関連活動の連携



## 参考

- 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業について
  - ・ 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業への提言書 H20 杉並区都市整備部土木計画課  
[http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/H21zenpukuji\\_teigensyo.pdf](http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/H21zenpukuji_teigensyo.pdf)
  - ・ 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業基本方針 H21 杉並区都市整備部土木計画課  
[http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/H21zenpukuji\\_kihonhousin.pdf](http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/H21zenpukuji_kihonhousin.pdf)
- 河川事業について
  - ・ 荒川水系神田川流域河川整備計画 H22 東京都建設局河川部計画課
  - ・ 中小河川における都の整備方針 ～今後の治水対策～ H24 東京都建設局
  - ・ 河川 東京都建設局 <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/river.html>
- 下水道事業について
  - ・ 東京都下水道事業 経営計画 2013 東京都下水道局 <http://www.gesui.metro.tokyo.jp>
- 湧水・地下水・雨水浸透について
  - ・ 東京の名湧水 57 選 東京都環境局 <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp>
  - ・ 雨水流出抑制対策 施設設置と助成のご案内 杉並区都市整備部土木計画課  
[http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/h22-04\\_usui\\_taisaku\\_2.pdf](http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/file/h22-04_usui_taisaku_2.pdf)
  - ・ 雨水の有効活用のご案内 杉並区環境清掃部環境都市推進課
- 善福寺川流域の動植物について
  - ・ 杉並区環境マップ 杉並区環境部環境課  
<http://www.kankyoumap.city.suginami.tokyo.jp/>
  - ・ 杉並区自然環境調査報告書（第5次） H20.3 杉並区環境清掃部環境課  
<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/library.asp?genre=703068>
  - ・ 杉並区みどりの実態調査報告書 H25.3 杉並区都市整備部みどり公園課  
<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/library.asp?genre=703073>
  - ・ 杉並区 河川の生物 ―第六次河川生物調査報告書― H22.3 杉並区環境部環境課  
[http://www.kankyoumap.city.suginami.tokyo.jp/nature/n\\_index.html](http://www.kankyoumap.city.suginami.tokyo.jp/nature/n_index.html)
- 本事業に関連する杉並区の計画について
  - ・ 杉並区総合計画 杉並区実行計画 H24.4 杉並区政策経営部企画課  
<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/library.asp?genre=2910>
  - ・ 杉並区みどりの基本計画 H22.5 杉並区都市整備部みどり公園課  
<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/library.asp?genre=295040>
  - ・ 杉並区景観計画 H22.4 杉並区都市整備部まちづくり推進課  
<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/library/library.asp?genre=295070>

## 参考文献

---

1. 荒川水系神田川流域河川整備計画 2010.11 東京都建設局河川部計画課
2. 東京都内の中小河川における今後の整備のあり方について最終報告書 2012.11  
中小河川における今後の整備のあり方検討委員会
3. 中小河川における都の整備方針 ～今後の治水対策～ 2012.11 東京都建設局
4. 雨水浸透と地下水のかん養をすすめるために 2009.3 東京都環境局
5. 東京都下水道事業 経営計画 2013 2013.2 東京都下水道局
6. 杉並区総合計画（10年プラン）2012.3 杉並区
7. 杉並区実行計画（3年プログラム）2012.3 杉並区
8. 杉並区まちづくり基本方針 ー杉並区都市計画マスタープランー 2002.6  
杉並区都市整備部都市計画課
9. 杉並区みどりの基本計画 2010.5 杉並区都市整備部みどり公園課
10. 杉並区景観計画 2010.4 杉並区都市整備部まちづくり推進課
11. 平成24年度杉並区みどりの実態調査報告書 2013.3 杉並区都市整備部みどり公園課
12. 杉並区 河川の生物 ー第六次河川生物調査報告書ー 2010.3  
杉並区環境清掃部環境都市推進課
13. 「こども環境白書 2010」 2009.10 環境省総合環境政策局環境計画課
14. 「こども環境白書 2011」 2010.11 環境省総合環境政策局環境計画課
15. 「こども環境白書 2012」 2011.12 環境省総合環境政策局環境計画課
16. 「こども環境白書 2013」 2013.3 環境省総合環境政策局環境計画課
17. 環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室HP  
「生物多様性ーBiodiversityー」
18. EIC ネット「このゆびとまれ！エコキッズ」一般財団法人環境情報センター
19. 新・子どもたちが地球を救う 50の方法 2009.5.25 著：地球を救う 50の方法制作委員会  
金澤孝江／都島由佳／増田弘道／三好かやの 絵：スギヤマカナヨ (株)ブロンズ新社
20. こどもたちができる かんたんエコ101 2009.2 著：ジャッキー・ワインズ  
訳：亀井よし子／芹澤恵 (株)ブロンズ新社
21. 21世紀こども百科 地球環境館 2004.6 監修：和田武  
編集：平野芳裕・小学館クリエイティブ (株)小学館
22. 科学のアルバム 水 めぐる水のひみつ 1978.10 著：塚本治弘 あかね書房
23. まちの水辺に豊かな自然をⅡ 多自然型川づくりを考える 1992.2  
編著：(財)リバーフロント整備センター (株)山海堂

24. まちの水辺に豊かな自然をⅢ 多自然型川づくりの取組みとポイント 1996.7  
編著：(財)リバーフロント整備センター (株)山海堂
25. 中小河川における多自然型川づくりー河道計画の基礎技術ー 1998.2  
編著：中小河川における多自然型川づくり研究会 (財)リバーフロント整備センター
26. 小学理科か・ん・ぺ・き教科書 新しい教養のための理科 応用編Ⅰ 2009.2  
編著：啓明舎 (株)誠文堂新光社
27. 武蔵野市下水道総合計画 2009.3 武蔵野市都市整備部下水道課
28. 日本動物大百科第6巻魚類 1998.6 監修：日高敏隆 編集：中坊徹次／望月賢二  
(株)平凡社